

移植予定の田口のイチョウで孵ったフクロウの巣立ち

平成19年に移植が予定されている田口のイチョウでフクロウが繁殖し、巣立ちを確認しました。フクロウの頭地地区周辺での生息は、これまでの環境調査で確認されていたものの、営巣場所が確認されたのは今回が初めてです。

今回確認された種は、フクロウ(亜種 キュウシュウフクロウ) (レッドリストくまもと 準絶滅危惧(NT)記載種)であり、先月24日の環境巡視員の植生調査中に飛翔、生息を確認したものです。

確認後は、川辺川ダム事業でご指導頂いている、環境保全・創造に関する検討委員会委員(鳥類)の先生からアドバイスを頂くと共に、継続したモニタリングを実施し翌25日には雛1羽、更に27日には新たに雛1羽(合計2羽)を確認していました。31日現在では自力で生息の場を周辺の林内へと移したことを確認しています。

今後は、移植に先立ち周辺の樹木にフクロウの営巣可能な巣箱を設置し保全に努めていくと共に、イチョウの木の移植後には再び営巣してくれることを期待しています。



イチョウの木にとまる成鳥



イチョウの木にとまる成鳥